

スクエアード・ストレイト交通安全教室

5月30日(火)に、標記交通安全教室を開催しました。本校においてはほぼ100%の生徒が自転車通学をしています。そのため毎年、車との軽い接触事故や運転操作を誤ったために転倒する事故が数回起きています。学校ではそのたびに機会を捉えて交通ルールの遵守や危険箇所の周知をしてきました。また、保護者による学校評価アンケートにも、生徒の自転車の乗り方を心配する評価があり中にはスクエアード・ストレイトの実施を懇願する声もありました。

そこで、毎年、多方面をお願いをしてきましたが、今年度、JAおやま様、JA共済連・栃木様、下野警察署様、下野市生活安心課様のご協力によりやっと実現することができました。当日は、気温30度を超えるような晴天となりましたが細谷小学校の4、5、6年生に加え、地域の敬老者の参観もあり生徒達は真剣に交通事故の生の衝撃や恐ろしさを実感していました。

内容は、自転車を運転する際に起こり得る事故の再現と大型トラックの巻き込み(内輪差)事故などについて、代表生徒による実演なども取り入れて行いました。

教室の最後には、石橋警察署交通課長の大垣浩二様より「皆さんは、交通社会の一員である事を自覚して、歩行者に配慮する責任がある。また、皆さんには考える力、感じる力を最大限に持っていただき、自分がどんな行動をすれば良いかを考えて安全運転をお願いしたい。」というお話がありました。

裏面には、生徒達の振り返りを掲載しました。

時速40キロの人身事故の衝撃



大型トラックの巻き込み事故(内輪差)



前方不注意による自転車同士の衝突

スタントは、「**シャドウ・スタントプロダクション**」の皆様です。

1年 女子

私は今回、交通安全教室に参加して本当に危ないと思いました。私は一昨年弟が事故に遭ってしまい入院してしまうという出来事がありました。その時にすごく悲しかったので、その時から、外出するときに、特に、自転車に乗るときにはルールなどを守っているつもりでした。けれど、今回の話を聞いて「最近では学校生活に慣れてきて、自分に甘くなってきているのではないかな。」と思いました。最近私は毎朝自転車で通学するのも慣れてきて、これくらいなら・・・とだんだん自分に甘くなっていて、このままだと、並進もしてしまいそうだと感じました。今回、交通安全教室に参加して、弟の事故の時のように「家族を悲しませたくない。」と改めて、きちんと交通ルールを守ろうと決心しました。

2年 男子

交通安全教室を通して、改めて交通事故の恐ろしさを知ることができました。事故のシミュレーションではたくさんのパターンを見せてもらい、とても良く分かった。僕は、たくさん見せてもらった中でも、止まれの標識があるのに飛び出してしまっって衝突という事故と、内輪差によって起こる事故は、自分にも起こる可能性があると思ったので周りに気を配り、スピードの出し過ぎなどせずに集中して自転車に乗ろうと思った。最近、1年生が並進をしていて、その友達同士でぶつかりそうになっているところを遠くから見たので、そういう時に巻き込まれないようにするためにも並進をしている人を見かけたら注意しなければいけないと思った。

いくらスタントマンと言っても、命にかかわる危険性があるのにもかかわらず僕たちのために体を張って再現してくれたことに感謝して、今日教えてもらったパターンを思い出しながら運転しようと思う。死亡事故というのは死亡してしまった人の家族、加害者の家族も悲しむということを忘れないようにしようと思う。

3年 女子

目の前で人が飛ばされるのは衝撃的だった。どの事故の再現も自転車に乗りながら電話をしたり、傘を差したりと交通ルールを守っていないものだった。ちょっと我慢したり、ちょっと意識したりする事ができたら防ぐことができ、誰も不快な思いをすることはしない。今日のスケアード・ストレイト交通安全教室で、ほんのちょっとしたことで大きな悲劇を起こし、ほんのちょっとした気配りで安全に生活できる事を改めて感じる事ができた。私が下校するとき、小学生の下校と重なることがある。下校中のたった一瞬の出来事で一生を狂わすことがないように、思いやりの気持ちを持って自転車に乗りたい。

☆お知らせ

5月に行われました3学年「修学旅行」1学年「校外学習」の様子は、学校ホームページに既に掲載されています。どうぞご覧ください。

また、6月2日（金）から行われました「春季県大会」において出場された部の保護者の皆様におきましては、早朝より、また、遠方まで応援等で大変お世話になりました。ありがとうございました。生徒達は、また、新たな課題を持って夏の総体に向けた練習に取り組んでいます。どうぞ、今後ともご協力をお願いいたします。